

# CKJSだより

第45号

校長 松平 昭二

shoji\_matsudaira@hotmail.co.jp

## 言語活動に期待すること

人の言語というのは実に面白いものです。長い教職経験の中で、保護者や地域の方々、児童・生徒、学生等、実に様々な人々との出会いがありました。

作文や論文に卓越した力を発揮し、誰もが納得するような文章力があるにもかかわらず、講演会や挨拶においては文章の棒読みだったり、組立がバラバラだったり意味不明のスピーチになってしまう人がいます。

また、スピーチをすると結婚式のプロの司会者のように会場全体を引き込むように語りかけをする力があるにもかかわらず、文章を書かせると校正が極めて困難な原稿を提出する人がいます。

「書く力」「話す力」「読む力」がすべて備わっている人は、そうざらにはいません。自分で完璧だと思っている人は、もしかして仲間がいないのかもしれませんが。「書く力」「話す力」「読む力」「聞く力」は、すべて「言語力」です。

今、学校教育において、国語をはじめ全教科・領域等において言語活動を具体的に展開することが求められています。日本の学校においては、「読書タイム」「作文コンクール」「弁論大会」「ディベート」「グループエンカウンター」「ワークショップ」など実に多様な取組が創意工夫され、言語活動の効果的実施に取り組んでいます。

自分の小学校高学年時代を振り返ってみると、とにかく文章を書かされ発表させられました。日常生活における作文から読書感想文まで、実に多くの作文を書かされました。作文を提出するとシールが1枚、読書感想文を提出するとシールが1枚、教室の壁面に貼られた模造紙大の名表にシールの数が増えていきました。シールが5枚たまと進級するというシステムで、名表上部には10級から10段まで格付けがされていました。読書感想文を書くためには読書しなければなりません。あの2年間の読書量は相当なものでした。

おかげで、読書することも文章を書くことも、人前で発表することも、得意ではないが嫌いではない人間に育ちました。この教育方法は良い悪いの議論はあるかもしれませんが、私の人生の底力を創り上げてくれたのは確かです。

人と関わることが苦手な人が増えている気がします。攻撃的な言動を平気でする割には他の人から厳しい指摘をされると極めてもろい人が増えている気がします。言語力とは人と人とのコミュニケーションの基本です。人と人との「絆」をもっともっと確かなものにするために、本校における言語活動にも効果的に取り組んでいきたいと思っています。



海外子女文芸作品コンクールが下記の要領で行われます。奮って応募してください。

## 第 44 回 海外子女文芸作品コンクールのご案内

今年も下記の要領でコンクールが行われます。皆さん奮って応募してください！

【テーマ】 海外生活を題材にしたものであれば自由です

【募集部門と点数】 作文・詩・短歌・俳句の 4 部門

一人で何部門でも応募できますが、一人が応募できる点数は以下の通りです。

1.作文/一人 1 点 2.詩/一人 1 点 3.短歌/一人 3 点 4.俳句/一人 3 点

応募方法については、各担任から説明していますが、詳細については下記ホームページをご覧ください。<https://www.joes.or.jp/kojin/bungei/detail/1>

【募集期間】 ※補習校でまとめて送付します。**締め切りは 6 月 3 日 (土)** です。各担任まで提出してください。郵便事情等を考慮の上、確実に届くように送りたいと考えています。締め切り厳守でお願いします。

### 学校図書購入の希望調査

図書購入時期となりました。子どもたちに読ませたい、また、ご自身が読みたい図書等がありましたら、下記「学校図書リクエスト」にご記入の上、**5 月 31 日**までに学校事務所アドレス (ckjs-office@ckjs.org) に添付してご提出ください。もしくは、メール本文に直接にお書きいただいても結構です。よろしくお願ひします。



#### 学校図書リクエスト



No	書名	著者名	出版社	ISBN
1				
2				
3				
4				
5				
6				

※ ISBN は、分かればご記入ください。

※ 書ききれない場合は、別途用紙 (任意) にご記入の上ご提出ください。  
E-mail での送付も受け付けます。

※ 予算にも限りがあります。また、在庫状況や内容によってリクエストにお応えできない場合もありますのでご了承ください。